

平成30年度事業計画

パナソニックアソシエイツ滋賀 株式会社

1 基本方針

当社は、「重度障がい者多数雇用」を目的とし、働く意志と能力を持ちながら適職や職場環境に恵まれない人々に安定した職場と雇用を確保・促進するために、滋賀県と彦根市およびパナソニック株式会社の3者による第三セクター方式によって、平成6年8月に設立された。

会社は社会の公器であるという考えのもとに、全員参加による経営により、障がいのある人もない人も、一体融和して仕事を分担し、仕事の能力、スキルに応じた公明正大な運営を目指す。

具体的には、障がいのある人とない人が共に協力し合い、「個人の自立・職場の自立・仕事の自立・経営の自立」の4つの自立を標榜し、みんなの幸せと会社の繁栄の実現を目指す。

2 事業計画

(1) 製造・販売事業

ア 電子回路を中心に電器機能部品の製造ならびにこれらの販売を行う。

イ アに付帯または関連する一切の事業を行う。

(2) 障がい者雇用の推進

ア 障がい者の雇用の確保および能力の向上を図る。

(ア) パナソニックアプライアンス社モノづくり競技大会への出場と入賞

(イ) パナソニックグループ全社モノづくり競技大会への出場と入賞

(ウ) 技能検定の合格

(エ) 滋賀県障害者技能競技大会（アビリンピック滋賀）への出場と入賞

イ 就業体験実習、工場見学の受入を行う。

ウ 障がい者採用に向けた体制準備を行う。

(ア) パナソニックグループ内特例子会社との意見整合

(イ) 特別支援学校や就労支援機関との採用に関する連携

(ウ) 近隣高校での障がい者の在籍状況ヒアリングおよび会社紹介

収 支 見 込

自 平成 30 年 4 月 1 日

至 平成 31 年 3 月 31 日

(単位 千円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較	備 考
1 売 上 高				
親 会 社 売 上 高	3,674,082	3,317,758	356,324	
売 上 高 計 (A)	3,674,082	3,317,758	356,324	
2 販 売 費 お よ び 一 般 管 理 費				
材 料 費 等	3,078,634	2,771,781	306,853	
消 耗 工 具 費	34,561	33,118	1,443	
人 件 費	322,754	292,820	29,934	
償 却 費	63,920	57,260	6,660	
そ の 他 費 用	158,012	157,250	762	
販 売 費 お よ び 一 般 管 理 費 計 (B)	3,657,881	3,312,229	345,652	
3 営 業 利 益 (C)=(A)-(B)	16,201	5,529	10,672	
4 営 業 外 収 益				
受 取 利 息	60	60	0	
そ の 他 営 業 外 収 益	22,200	21,440	760	
営 業 外 収 益 計 (D)	22,260	21,500	760	
5 経 常 利 益 (E)=(C)+(D)	38,461	27,029	11,432	
6 税 引 前 当 期 純 利 益 (F)=(E)	38,461	27,029	11,432	
7 法 人 税 等 (G)	11,692	8,298	3,394	
8 当 期 純 利 益 (H)=(F)-(G)	26,769	18,731	8,038	

平成29年度事業報告

パナソニックアソシエイツ滋賀 株式会社

1 事業概要

当社は、会社は社会の公器であるという考えのもとに、全員参加による経営により、障がいのある人もない人も、一体融和して仕事を分担し、仕事の能力、スキルに応じた公明正大な運営を推進した。

平成29年度は、企業収益や雇用状況が改善したことにより、個人消費の回復基調が継続したため、車載用と静電霧化装置用の回路が大きく販売を伸ばした。一方、シェーバー用の回路は減販となったが、売上高については、計画、前年度比共に増収となり、経常利益については、前年度には届かなかったものの、計画からは大幅増となった。

2 事業実績

(1) 製造・販売事業

電子回路を中心に電器機能部品の製造・販売を行った。

(2) 障がい者雇用の推進

ア 障がい者の雇用の確保および能力の向上に努めた。

(ア) パナソニックアプライアンス社モノづくり競技大会 4名入賞

(イ) パナソニックグループ全社モノづくり競技大会 4名出場、入賞なし

(ウ) 技能検定 1名合格

(エ) 滋賀県障害者技能競技大会（アビリンピック滋賀） 4名入賞

(オ) 優秀勤労障害者 知事賞 1名受賞

(カ) 優秀勤労障害者 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長努力賞 1名受賞

(キ) 新規学校卒業障がい者および健常者の入社 各1名

(ク) 中途採用障がい者の入社 1名

イ 就業体験実習、工場見学の受入を行った。

(ア) 就業体験実習の受入 96名・日

(イ) 工場見学の受入 359名

ウ 平成30年度の障害者の法定雇用率見直しに対応する障がい者採用増のための体制準備を行った。

(ア) パナソニック内特例子会社との障がい者雇用に関する意見交換会実施

(イ) 特別支援学校や就労支援機関との協議会を発足

損 益 計 算 書

自 平成 29 年 4 月 1 日

至 平成 30 年 3 月 31 日

(単位 千円)

科 目	金 額
売 上 高	3,666,453
売 上 原 価	3,627,562
売 上 総 利 益	38,891
販売費および一般管理費	19,036
営 業 利 益	19,855
営 業 外 収 益	27,890
(その他営業外収益)	(24,560)
経 常 利 益	47,745
税 引 前 当 期 純 利 益	47,745
法 人 税 等	18,049
法 人 税 等 調 整 額	△ 3,233
当 期 純 利 益	32,929

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しています。

貸借対照表

平成 30 年 3 月 31 日現在

(単位 千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産	838,582	流 動 負 債	482,941
現金および預金	8,118	買 掛 金	340,825
売 掛 金	329,298	未 払 金	16,146
仕 掛 品	34,298	未 払 費 用	82,031
原材料・貯蔵品	65,941	未 払 法 人 税	10,625
未 収 入 金	24,455	未 払 消 費 税	10,948
連結預け金(預金)	368,211	預 り 金	1,559
前 払 費 用	18	賞 与 引 当 金	20,807
繰延税金資産	8,243	固 定 負 債	20,544
固 定 資 産	405,853	退 職 給 付 引 当 金	5,130
有形固定資産	405,562	長期繰延税金負債	15,414
建 物	73,046		
構 築 物	1,899	負 債 合 計	503,485
機 械 装 置	329,857		
工 具 器 具 備 品	760	純 資 産 の 部	
無形固定資産	291	株 主 資 本	740,950
施設利用権	291	資 本 金	50,000
		利 益 剰 余 金	690,950
		特別償却積立金	10,787
		圧縮記帳積立金	36,368
		繰越利益剰余金	643,795
		(うち当期純損益)	(32,929)
		純 資 産 合 計	740,950
資 産 合 計	1,244,435	負 債 純 資 産 合 計	1,244,435

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しています。